

兵庫からの手紙

兵庫県発行



エメックス ニュース

1 第 号

創刊のことば



兵庫県知事

具原俊氏

1990年8月、世界各地から大勢の研究者、行政・研究機関、さらには関係者の皆様のご協力を得て、兵庫県の神戸市で開催された「エメックス90」では、世界の閉鎖性海域の環境保全について共通の認識のもと大きな成果が得られたところです。

しかしながら、赤潮など従来からの富栄養化問題に加え、開発と保全との調和問題やペルシャ湾での油汚染など新たな問題も発生し、かつて人類の営みに大きな恵みを与えてきた閉鎖性海域には、早急に解決すべき環境課題がまだまだ山積しています。

1993年に米国メリーランド州で開催される第2回エメックスでは、この「エメックス90」の成果をふまえた活発な議論が交わされるものと期待していますが、こうした環境課題の解決には、国際的な規模での情報や技術の交流に加えて、関係機関や研究者によるたゆみない努力こそが大きな推進力と申せましょう。

地方行政も地球的な視野にたった取組が求められている今日、わが国を代表する閉鎖性海域“瀬戸内海”をもつ兵庫県では、世界の閉鎖性海域にかかわる情報交換と関係者のネットワーク化を図ることを願い、このほどニュースレターを発行することといたしました。

世界の閉鎖性海域の環境保全のために国際協力の一助になれば幸いです。

創刊にあたって

日本学術会議会長
中央公害対策審議会会長

近藤次郎

(元世界閉鎖性海域環境保全会議実行委員会会長)

1990年8月に神戸で開催された世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス90）はこの種の国際会議としては最初のものでしたが、幸いにして内外より多数の参加を得て成功裏に終了することができました。ここで得られた成果を基に閉鎖性海域の保全を一時的な議論に終わらせることなく、長く努力を続けこの成果を実行に移して実際に海域を保全することが大切であることが共通に認識されました。

さて、危機に瀕した閉鎖性海域の環境を保全するには、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学も含むあらゆる科学を用いなければならないと考えております。また、閉鎖性海域の環境問題は、多くの国家間にまたがるものもあり、この意味においても地球的規模で取り組まねばならない問題であります。

このように閉鎖性海域の環境保全については各分野からの協力を一層促進するとともに、研究者及び関係機関を中心とするネットワークを構築して、国際的な技術交流や情報交換を行うことは、こうした閉鎖性海域の問題を解決するうえで、極めて有効であると思います。

今回、閉鎖性海域に係るニュースレターがエメックス90を提唱されて、開催に努力された兵庫県から発行されることは大変時宜を得たものであります。これは、技術や情報の交換を促進するのに役立つことと思います。世界の閉鎖性海域にかかわる人々が、このニュースレターを利用して情報交換を積極的に行われることを期待しています。

エメックス90後の動き

エメックス90の開催のため組織された世界閉鎖性海域環境保全会議実行委員会(会長 - 近藤次郎日本学術会議会長)は、1991年(平成3年)3月31日をもって解散されました。その後、兵庫県は、会議で得られた成果を発展させ、今後も閉鎖性海域の環境保全に貢献することをめざして、エメックスの継続開催を推進するとともに、閉鎖性海域に関する研究者等のネットワークを構築し、拡大するため研究者名簿の発行、また開発途上国への閉鎖性海域管理技術援助を行ってきております。今年からは、研究者、関係機関の情報の交換を促進するためニュースレターの発行を始めました。

第2回エメックスについては、エメックス90の閉会式において米国メリーランド州政府代表のデイビッド・キャ

ロール氏により、1992年にメリーランドで開催すると発表されましたが、1992年(平成4年)6月にはブラジルのリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連議会」(UNCED - 地球サミット)が開催されるため、関係機関が協議の結果、同会議の開催時期が1年延期され、1993年(平成5年)に開催されることになりました。

メリーランド州政府、メリーランド大学等の関係者により第2回エメックス(エメックス93)の開催準備が進められ、1991年(平成3年)11月4日~6日には第1回運営委員会がメリーランド州ボルチモアで開催され、兵庫県からも藤原環境局長が出席しました。協議された会議開催計画の概要については、3ページに記載しています。

閉鎖性海域環境管理に関する技術研修

国際協力事業団(JICA)から委託を受けて、社団法人瀬戸内海環境保全協会が平成2年度より「閉鎖性海域の環境管理技術コース」の研修を開始いたしました。兵庫県では、この研修を全面的に支援しています。

この研修は、発展途上国に対する技術協力の一環として閉鎖性海域及びその沿岸の環境管理を行う中堅行政担当官・技術者を対象に、行政概論、公害管理技術、水質汚濁の機構、排水処理技術等の講義や実習を神戸を中心とする施設で実施するもので、平成2年度は8か国(中国、マレーシア、タイ、エジプト、サウジアラビア、トルコ、ブラ



平成3年度研修員

ジル、メキシコ)、8名が参加しました。平成3年度は、9月24日から12月6日まで約2か月間にわたり開催され、7か国(中国、コロンビア、エジプト、韓国、サウジアラビア、タイ、トルコ)、7名の参加がありました。平成4年度も同時期に実施されることになっています。

瀬戸内海研究会議の設立



合田 健 京都大学名誉教授

瀬戸内海の問題については、沿岸の13府県5政令指定市で構成する瀬戸内海環境保全知事・市長会議で取り組まれています。エメックス90を契機として新しく『瀬戸内海研究会議』の組織化が図られています。

『瀬戸内海研究会議』は、主として瀬戸内海に関する研究者で組織され、自然科学はもちろん人文科学、社会科学を含めた学際的な集団をめざし、大学等教育機関、国公立試験研究機関及び企業内専門研究員等で構成する組織で次のような活動を行うことになっています。

(1) 瀬戸内海の問題の保全と適正な利用に係る今後のあり方について研究し、必要な提言を行います。

- (2) 国、地方公共団体が行う瀬戸内海に関する調査・研究に協力します。
- (3) 年1回シンポジウム形式の総会を開催し、研究の成果及びその他の情報の交換と普及を図ります。
- (4) 会員の研究発表及び会員相互の情報交換の場として研究情報誌を発行します。

現在、設立発起人会(代表:合田健京都大学名誉教授 - 写真)がつくられ、1992年3月の設立をめざして準備が進められています。設立総会及び記念シンポジウムが3月30日神戸において開催されることとなっておりますので、出席されることを期待いたします。

なお、事務局は社団法人瀬戸内海環境保全協会においてありますので、お問い合わせは下記の協会までお願いいたします。

社団法人瀬戸内海環境保全協会
〒650 神戸市中央区下山手通4丁目16-3 兵庫県民会館内
Tel. (078) 332-0213 Fax. (078) 332-5772
(担当) 中嶋

第2回世界閉鎖性海域環境保全会議(エメックス93)について

シェーファー 知事の メッセージ

メリーランド州
ウィリアム・ドナルド・シェーファー知事




メリーランド州は、エメックス90に参加された皆様、1993年(平成5年)7月19日から21日までメリーランド州ボルチモア市で開催する「第2回世界閉鎖性海域環境保全会議」(エメックス93)にご参加していただけるようご案内を申し上げます。

エメックス90を継承して、アメリカ合衆国の各地域は

もとより世界中の多くの国や地域から学者、科学者、資源管理者及び政治指導者を結集し、閉鎖性海域の適正な利用と保全に関し、科学的、技術的なものだけでなく政策についても情報を交換したいと思います。

この会議の舞台であるチェサピーク湾は、北米最大で、最も美しい河口域です。また、この湾は、瀬戸内海と良く似て人間の生活に深いかかわりを持っており、数世代に渡って人間の活動の中心的役割を果たしてきました。これらの内海や内湾の環境保全は重要です。

海域の環境保全に携わっている皆様、どなたもこの会議に参加していただき、お互いに学び合うことを願っております。エメックスにおける交流を通じて、地球的規模での新しい関係を発展させることができ、それによって人間と環境とが共に繁栄していくとともに、次の世代のための沿岸海域のより良き管理者となれると考えます。

第1回運営委員会で決定されたエメックス93開催計画の概要は、次の通りです。

1 概要

エメックス93は、かけがえのない天然資源を今後も持続して利用していくための沿岸域環境の保全について、科学、政策及び管理の相互関連を検討する会議です。メリーランド州と米国連邦政府が日本の兵庫県の協力を得て計画したこのエメックスは、沿岸域資源の乱開発及び資源の利用・管理に関する総合的な計画の立案の可能性に焦点をあてた継続する国際フォーラムとすることを目指しています。

世界の沿岸海域の環境と天然資源を管理するため始められている計画を比較・評価するためのフォーラムが準備され、会議ではこうした計画の集約と分析を行い、著名な学者、政策策定官及び科学者により比較論に関する発表が活発に行われます。この会議には、約1,200人の科学者、学者、政府官吏、国際団体役員及び住民団体代表が参加することが期待されます。

2 全体計画

(1) 会議名称

1993年世界閉鎖性海域環境保全会議
(International Conference on Environmental Management of Enclosed Coastal Seas '93)

(2) テーマ(仮訳)

ア. メインテーマ

効果的な沿岸海域のGovernance(統轄)に向けて
科学、政策及び管理により沿岸域の環境を持続する

イ. サブテーマ

- * 多くの面から利用され、複数の行政管轄区域を有する沿岸海域における総合的な政策形式と実践への展望
- * 沿岸海域と河口域に関する科学の進歩及び科学と管理との相互関連
- * 閉鎖性海域の管理への住民参加の考察

(3) 会期

平成5年(1993年)7月19日(月)~21日(水)

(4) 開催地・会場

米国メリーランド州ボルチモア市
ボルチモアコンベンションセンター



ボルチモアコンベンションセンター

(5) 主催者

米国メリーランド州
メリーランド大学システム
CEES(河口域環境研究センター)
CEPP(沿岸域環境政策計画)

(6) 後援

EPA(米国環境保護庁)、NOAA(米国国家海洋大気局)、NAS(米国国立科学アカデミー)、IOC(ユネスコ政府間海洋委員会)、環境問題海洋学フォーラム(英国)、UNEP(国連環境計画)、OECD(経済協力開発機構)、兵庫県(要請中・エメックス93評議会委員会)、IUCN(国際自然保護基金)、国際沿岸域管理機関

3 お問い合わせ先

EMECS '93 Secretariat
c/o University of Maryland CEES
P.O.Box 775, Cambridge, Maryland 21613 U.S.A.
Tel. +1 410-228-9250 Fax. +1 410-228-3843

(この記事は、メリーランド州政府によって作成されました。)

ネットワークづくりのためのアンケート調査

兵庫県では、エメックス90を契機として世界の閉鎖性海域に関係した人々のネットワーク化を図り、さまざまな情報交換を図っていくことを目的として、1991年にエメックス90参加者のうち主として大学、研究機関に所属する人を対象としてアンケートを行いましたので、その結果の概要を紹介します。

調査項目は、所属する機関、役職、連絡先、専門分野、対象としている海域、主な著作・論文、著書、所属する学会等で、このうち連絡先、専門分野、対象としている海域

についてまとめています。

- 1 回答者数 約200名
- 2 国別 表1
- 3 専門分野 表2
- 4 研究対象とする閉鎖性海域 表3

このアンケートは、今後このニュースレターを発行する際の基礎資料としております。1992年はさらに対象を拡大するとともに、関係機関についても同様の調査を行う予定にしておりますのでご協力をお願いします。

表1
国別内訳
(主なもの)

国名	人数(人)
中国	6
ギリシア	6
米国	6
フィリピン	5
韓国	4
スペイン	4
イタリア	3
ポーランド	3
タイ	3
日本	131
合計	199

自然科学		社会科学・人文科学	
分野	人数(人)	分野	人数(人)
水産学	56	人文地理学	4
土木工学	51	経済政策	4
生物科学	39	公法学	4
化学	22	民法学	4
地球物理学	19	社会学	3
		文化人類学・民族学	3
		国際関係法学	3
		政治学	3

表2
専門分野別内訳
(主なもの)

注) 複数回答のため、合計は回答数を超える。

表3
対象海域別内訳
(主な閉鎖性海域)

海域名	人数(人)
地中海	17
バルト海	7
北海	5
タイ湾	5
渤海	5
チェサピーク湾	4
サンフランシスコ湾	3
瀬戸内海	83

読者の皆様へ

このニュースレターの名前は、EMECS (Environmental Management of Enclosed Coastal Seas) に由来するもので、発行の目的は、各種の閉鎖性海域についての情報を交換し、広く世界の人々のに広げ、世界の関係者、関係機関を結ぼうとするものです。

今回は、エメックス93開催計画の概要、瀬戸内海研究会議、ネットワークづくりのためのアンケート調査結果について特集しました。

「エメックスニュース」は、閉鎖性海域の研究者はもちろんのこと、閉鎖性海域の関係者、関係機関に所属する人々も読者の対象としています。各専門分野での新しい研究、国際会議開催の情報、その他閉鎖性海域に関する情報の提供をお待ちしています。

なお、エメックス90に参加された方以外で、今後「エメックスニュース」の入手を希望される方は事務局までご連絡ください。

出版物のご紹介

エメックス90の報告書(和文・英文)及び1991年に作成しました閉鎖性海域研究者名簿(英文)に残部がありましたので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。エメックス90の論文集(英文)は、英国のパーガモンプレス社から「Marine Pollution Bulletin」のSpecial Issue-Vol.23として発行されています。購入をご希望の方は下記までお問い合わせください。

パーガモン プレス 東京事務所
〒113 東京都文京区湯島3丁目20番12号
ツナシマビル アネックス
Tel. (03) 3839-8731 Fax. (03) 3839-8830

発行者 兵庫県保健環境部環境局水質課
〒650 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
Tel. (078) 362-3255 (直通)
(078) 341-7711 (大代表) 内線 3396 ~ 7
Fax. (078) 382-1580